

## NPO法人岐阜県園芸福祉協会の設立総会を開催

岐阜県 初級園芸福祉士 杉本 正紀

岐阜県園芸福祉サポーターは、現在、総勢268名が認定を受け、県内約100ヶ所の福祉施設、教育機関等で園芸福祉活動を行っており、年々その活動が広がりつつあります。

活動を進めるなか「安全で、安心して活動できる場の確保」「情報の共有化を行うことで技術の向上を図ろう」等、様々な要望、課題も生じてきました。また「サポーターの、組織化が必要」との声も多くなってきました。

こうした要望を受け、園芸福祉サポーター代表者と、日本園芸福祉普及協会の野尻理事(白川病院長)を中心に、組織化の協議が進められ、サポーターが直面している課題解決のため、次の事項に取り組んでいく事となりました。

園芸福祉活動の信頼性を確保

事業受託による活動資金確保

各地域ごとの仲間づくり

安心して活動するための保険加入

みんなが活用できる活動プログラムの共有化

各種研修会の開催によるスキルアップ

特に、活動の信頼性を高め、責任を持って事業受託を進めるには、法人格が必要であることから、NPO法人格を取得し、より積極的に活動することとなりました。

今後、より多くの方に参加いただきながら、園芸福祉活動を通じた住みよい地域づくりを目指して活動を進めていきます。

